

【第5次津島市総合計画】施策評価シート(2023年度)

施策コード	36
-------	----

まちづくりの方針	3 産業・環境・市民生活
施策	6 防災・危機管理
施策のめざす姿	災害に備え、家族を含め自分自身の身の安全を守る意識が高まり、地域の人々等が協力して助けあう体制や公的機関による救助・援助体制が充実し、市民は安心して生活しています。

まちづくり指標	現状値 (2019年度)	実績値					目標値	
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2025年度	2030年度
災害に対する家庭内の備えができて いる市民の割合(%)【危機管理課】	36.8	—	—				50.3	63.8

施策の方針	担当課	実績・成果
		今後の方向
1 危機管理の強化	危機管理課	危機管理対策本部会議開催数 2回 危機管理体制を強化し、状況に応じた適切な対応・対策を実施する。
2 地域防災力の向上【重点】	危機管理課	防災リーダー養成講座開催回数 1回 個別避難計画作成件数 21件 自主防災組織等と連携し、地区防災計画を作成する。また、避難行動要支援者への支援体制を強化する。
3 自助意識の醸成【重点】	危機管理課	防災講演会開催回数 1回 防災ほっとメール登録件数 6,819件 防災教室の開催 6回 出前講座 7回 家具転倒防止金具及び飛散防止フィルム取付補助世帯数 72世帯 家庭での備蓄や家具の固定等を啓発する。また、防災ハザードマップや防災ほっとメールなどにより、的確な情報提供に努める。
4 防災対策の充実	危機管理課	資機材等購入額 695,024円 備蓄品等購入額 2,199,960円 防災支援システムの導入による情報の集約化 備蓄食糧及び資機材の計画的な購入と、各種マニュアルを整備、見直しにより災害への備えを強化する。

総括評価	施策のめざす姿の達成状況	随時、危機管理対策本部を開催し、情報共有をはじめ適切な対応に努めた。またデジタル田園都市国家構想推進交付金を活用し、防災支援システムを導入。システムを活用した災害対策を推進した。このほか、新たに飛散防止フィルム取り付け事業の開始、防災教室を開催し、自助意識の醸成を図った。	評価 B
	施策のめざす姿の達成に向けて今後必要なこと	防災支援システムの運用についての研修、自助・共助意識の向上と地域防災力の向上支援、耐震性貯水槽の整備。	方針 継続